





SPring-8における磁性材料研究

JASRI/SPring-8 利用研究促進部門 中村 哲也

 SPring-8における磁性研究手法
 X線磁気円二色性(XMCD) (原理,特徴,取得情報,研究例)





区分					
	共 用	専 用	理 研	加速器診断	合 計
稼働中	26	14	7	2	49
計画・調整 建設中	0	3	1	0	4
合 計	26	17	8	2	53

SPring.8





●極めて明るい
 ●細く絞られ、拡がりにくい
 ●赤外線からX線までの広い波長範囲
 ●自然に偏光している
 ●短いパルス光の繰り返しである

●放射光施設のなかで最も広いエネルギー(波長)範囲(0.01eV~300keV)

真空紫外線からX線までの広い波長範囲(200~0.01nm)

高いエネルギー(波長)分解能(10⁻⁴~10⁻⁹)

●世界最高輝度(10²¹(光子/秒·mm²·mrad²·0.1%b.w.)

●偏光特性(直線偏光、円偏光、高速切り替え)

●パルス特性(パルス幅40ピコ秒、可変繰り返し)

空間的可干渉性(コヒーレンス)

高い電子ビーム安定性(水平面内±4μm、垂直面内±3μm)

SPring-8 WEB事例集



対象試料で検索する磁性材料研究例

Contraction and A Contractio	eb Site - windows internet Explorer			<u></u>			
🕒 🕞 🕶 http://www.spring8.or.jp	/ja/users/new_user/database/solution_search	/solution_search_by_samples/tab_search	🔽 🐓 🗙 Live Search	P -			
│ ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気/	こ入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)		- *	' 🔁 • 🇞 •			
😭 🎲 🐟 対象試料で検索する – SP	ring-8 Web Site		🔄 🛧 🗕 🖓 🛧 🖓 🕹 🕹 🕹	🖶 印刷(R) 🔹 🦷			
SPring.		大	型放射洗施設(SPring-8) ● English 図 お 解 解疫病要・案内 ハイライト お知ら	<u>調い合わせ</u> せ キッズ 検索			
		<u>、 » 利用事例テータベースのこ紹介</u>)	》 <u>利用事例の検索</u> » 対象試料で検索する				
測定手法で検索する	回列家武村(快系9つ						
対象試料で検索する	対象試料 得られる情報 測定手法 測定条件 エネルギー領域 ビームライン						
	フリーキーワード						
	検索したいキーワードをチェックしてくた 同じタブ内のキーワードはOR検索、別	だい。 のタブで指定したキーワードとはAND検	2 検索	> クリア			
	□ 無機材料						
	□ 金属·合金	□ 半導体	□ 超伝導体				
	☑ 磁性体	□ 誘電体·強誘電体	□ 絶縁体・セラミックス				
0	□ 結晶性固体	🔲 非晶質、ガラス	□ 液体·融体				
	🗆 鉱物·岩石	□ 準結晶	□ 薄膜(無機)				
	□ 人工多層膜	🔲 ナノ材料ナノ構造					
	□有機材料						
	🔲 低分子有機材料	🔲 高分子有機材料	□ 結晶				
4	□ 溶液	□ 液晶	□ 脂質				
	□ 膜						
	□原子・分子・ラジカル						
	□ 原子	🗖 イオン	🗖 ラジカル				
	分子 (中性)	🗖 分子 (電離)	🗖 原子核				
	□ 素粒子						
	□生物·医学						
	生体(in vivo)	上 生体(in vitro)	🔲 生体組織、細胞系等				
	6	_	_				

□検索結果

51 個のアイテムが検索条件に該当しました

- 単結晶薄膜の基板結晶とのエピタキシー性の評価ビームライン BL13XU(表面界面構造解析) 最終変更日
 2006-03-30 11:39
- <u>Ba8Mn2Ge44中のMnの価数</u>ビームライン BL19B2(産業利用) 最終変更日 2006-03-30 13:34 🔰
- 非共鳴磁気散乱 ビームライン BL46XU(R&D) 最終変更日 2006-03-30 18:05 🔿
- <u>電子軌道の強的秩序状態の観測</u>ビームライン BL46XU(R&D) 最終変更日 2006-03-30 18:07 🔿
- <u>状態選別XAFS分光</u> ビームライン BL39XU(磁性材料) 最終変更日 2006-03-30 20:32 🧔
- <u>共鳴非弾性×線散乱による電子励起の観測</u>ビームライン BL11XU(JAEA 量子ダイナミクス) 最終変更日 2006-03-30 11:26
- <u>PFY-XAFS(Partial Fluorescence Yield XAFS:部分蛍光収量法によるXAFS)の多様な測定手法</u>ビームライン BL15XU(WEBRAM) 最終変更日 2006-03-30 13:09 ♥
- <u>パルス被場を用いた強磁場下X線回折</u>ビームライン BL22XU(JAEA 量子構造物性) 最終変更日 2006-03-31 15:34 ♥
- <u>Mn3ZCの磁気相転移に伴うMn 4p電子状態の変化の観測</u> ビームライン BL39XU(磁性材料) 最終変更日 2006-03-30 20:21 る ♥
- <u>Ce化合物の磁気円二色性</u>ビームライン BL25SU(軟×線固体分光) 最終変更日 2006-03-31 14:12 ♥

1 <u>2 3 4…6</u> 次の 10 アイテム »

🌝 SPring-8ならでは 🔰 初心者向け 🔶 New 🚱 Hot 👷 オススメ

最終変更日 2005-12-06 14:59

「測定準備に必要なおおよその時間」 「研究例のデータを取るのにかかったシフト数」 「測定の難易度」 「データ解析の難易度」





X線~磁性電子間の直接的相互作用を利用(偏光を利用)



X線磁気円二色性(XMCD)



X-ray Magnetic Circular Dichroism



X線による共鳴内殻励起 (例:Fe L吸収端)







軟X線MCDと硬X線MCD (特徴が異なる)

<u>軟X線MCD</u>		<u>硬X線MCD</u>
E < 2 keV	\longleftrightarrow	E > 5 keV
表面敏感	\longleftrightarrow	バルク敏感
超高真空	←→	常圧雰囲気
		高圧実験 (P>30GPa)



軟X線MCD測定装置



Magnetic field : -1.9 T - +1.9 TBeam size : $0.7 \text{mm}^{\vee} \times 0.4 \text{mm}^{\text{H}}$ Cooling insert : $16\text{K} \sim 300 \text{ K}$ Heating insert : $120\text{K} \sim 700 \text{ K}$





Measurement chamber $(5 \sim 20 \times 10^{-8} \text{ Pa})$ Preparation chamber $(3 \sim 10 \times 10^{-8} \text{ Pa})$ Ion sputter gun, LEED, Electron bombard, Q-mass Load lock chamber $(3 \sim 20 \times 10^{-6} \text{ Pa})$







3ch.MCD同時計測システム。軟X線が透過可能な厚さ(t<~100nm)の導電性試料であれば全電子収量法(TEY)と透過法によって、 それぞれ、薄膜表面(界面)の磁気情報と膜厚方向を平均化したバルク的な磁気情報が同時に得られる。この方法は、磁気ヘッド素子 用の磁気多層膜のXMCD研究に活かされている。さらに、フォトダイオードによる全蛍光収量や正バイアス印加によって光電子引き 込むタイプのTEYも選択的に組み合わせて利用している。

XMCDから得る情報(磁気モーメント)



SPring.8

XMCDから得る情報(元素選択磁気ヒステリシス)



SPring.8









XMCDによる 元素選択磁気ヒステリシス曲線

XMCDから得る情報(元素選択磁化温度特性)



SPring.8

Atomic wire on Au(788)





希土類内包フラーレンとピーポッドの磁性

希土類内包フラーレンは、希土類金属を含む炭素棒を電極にアーク放電して生成させる。このとき、希土類内包フ ラーレンは確率的に生成するものであって、大半はグラファイトや希土類を内包しないフラーレンなどの目的外生成 物である。したがって、これを液体クロマトグラフィーによって単離精製するが、その結果得られる試料は極微量で ある。XMCDでは極微量(µg)以下の試料も測定可能である。



PEEMSPECTOR system=>BL25SU at SPring-8









x-ray

H





硬X線MCD測定設備@BL39XU



マイクロビームXMCD

AIT 田口様 ご講演



ビームサイズ~1µm focused beam profile 1.0F horizontal FWHM 0.75 µm 0.5 X-ray intensity (arb. unit) 0.0 1.0F vertical FWHM 1.3 µm

0 position (µm)

0.5

0.0

10 テスラ超伝導磁石



硬X線MCDの利用



*硬X線*MCDならではの実験



H. Maruyama et. al, Physica B <u>351</u>, 328-332 (2004)

B scis 26 iron

ARIANA SARA DA SARANA RYARAS AN RYARAS AN RANNOS I MT-2/L IN 44 Rutherium

0

微少領域のXMCD測定(マイクロビーム)



Fig. 2. Scanning ion microscope images of a magnetic dot array with dot size of 100 nm and space of 100 nm: (a) whole dot array (8 x 8 μ m²), (b) a part of the dot array (1 x 1 μ m²).

膜構成:Co₈₀Pt₂₀(15 nm)/Au/Ti/glass ドットサイズ:100 nm



Fig. 1. Schematic view of micro-XMCD measurement.

Y.Kondo et. al, J. Mag. Mag. Matt <u>320</u>, 3157 (2008).

硬X線MCD @ BL39XU



Fig. 3. ESMH curves at Pt L_3 edge of continuous film (a) and magnetic dot arrays with various dot size (b~d) by Ga ions with energy of 30 keV.





XMCDは、磁気光学効果を利用した磁気評価技術であり、以下の特徴を備える。

吸収係数スペクトルを測定する簡便な実験



<u>磁化測定に元素コントラストを付加した</u>情報

磁気モーメントの 定量評価

元素毎の磁気ヒステリシス曲線

元素毎の熱磁化曲線

元素毎の磁気ドメイン

(PEEM, マイクロビーム走査)

基板の影響を受けない磁化測定ができます (放射光実験のなかでも)特に簡単実験できるように整備されています